

盲ろう者のオシャレ

○テーマ設定の理由

私がこのテーマを設定した理由は二つある。

一つ目は、盲ろうの方のオシャレの楽しみ方はどのようなものなのか疑問に思ったからだ。視力に障害のある場合、色の組み合わせや全体のバランスについて考えるのは難しいことなのではないか。どのように洋服や小物等を選んでいるのか。また、聴覚に障害のある場合、手話を使って日常会話をする人もいると思う。その時に手が塞がっていては満足に手話を使えないので両手でバッグは持てないだろう。カラフルで柄の多い服装は相手からは手話が見にくいということも以前耳にしたことがある。盲ろうの方が服装を決める時には、障がいのない人と比べて配慮しなければいけない点や出来ないことも多い。

二つ目は、以前講義で視聴した動画の中で、盲ろうの方が、「盲ろうで良かったという人が周りに多いが私はそうだとは思わない。生まれ変わったら目も見えて耳も聞こえる人になりたい。」というようなことをおっしゃっていたことが印象に残っている。そのように感じている方でも、障害のない人のように自分の好きなオシャレを楽しんで、人生に色どりを付けるために何か出来ることは無いのか疑問に思い、現在どのような取り組みがあるのか知りたくなった。

視覚障がいのある人の服の選び方 (NHK 生活情報ブログ)

- 手触りや形で服を区別
- センサーで色を感知し、音声で知らせてくれる機械

《一般社団法人日本視覚障がい者美容協会(JBB)》

Vision:世界中、全ての人がオシャレや仕事を諦めない世界

- ・出張ネイルサービス
- ・JB アイズ…LINE のビデオ通話を使用して、視覚障がいの方々の「目」になる。メイク、化粧品の確認、服の組み合わせ等の視覚的支援を提供する。
- ・音声で読むファッション誌

まとめ

視覚障がいのある人についての内容ばかりであるが、これらは、聴覚障がいのある人に対しても当てはまるものもある。服の選び方で手触りや形で服を区別しているのは、盲ろうの方に当てはまると思った。これまでどのように選んでいるのか分からなかったので、自分の手で服を選んでいるということは持っている服について覚えていなければいけないということであり、服を選ぶだけで大変だと考えた。

また、JBB の活動にある出張ネイルサービスは良いと感じた。自分で見えなくても、可愛いものや綺麗なものは、身に付けていることで幸せにしてくれる。このような素敵な活動をしている企業を知ることが出来て良い学びになった。

視覚障がいがあっても聴覚障がいがあっても出来る限り好きなようにオシャレを楽しめる世の中になってほしい。

参考文献

- ・NHK 生活情報ブログ 2014年9月12日 “いろ”を楽しむ視覚障害者
<https://www.nhk.or.jp/seikatsu-blog/300/196932.html>
- ・一般社団法人日本視覚障がい者美容協会 <https://www.japan-beauty-blind.com/>